

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2021.10.01

Vol.

3

October, 2021

第 3 号
隔月 1 日発行

しかま支え合い 情報誌

見本

令和3年度
麻町敬老祝商品券

¥500

1日(金)まで

色麻町

3年12月31日(金)まで

せ先 色麻町保健福祉課



特集

笑い溢れる 地域の拠り所

VOICE

In
上高城

KAMITAKAGI

悩みも楽しみも
何でも遠慮なく話して
最後は大笑いして帰ってほしい



常連の渡邊裕子さん（左）と浅野桂子さん（中央）とお店で談笑するいなみさん。

話しやすい人柄 寄りやすい場所

宮城県色麻町上高城地区の通り沿いにある加藤酒店。ここが、地域の心の拠りどころとなっています。

「どうぞ、上がらい」と笑顔で迎え入れてくれるのは、加藤酒店の加藤いなみさん（七四）。来店した人は買い物だけでなく、いなみさんと世間話をしていきます。「来ればいつも世間話をします。お店ですし、こういう話しやすい人柄



↑いつも笑顔で出迎えるいなみさん。

時を経ることに 話題もいろいろ

だから、ついつい寄りやいますね」と語るのは、同地区民生委員の小山牧子さん（七一）。いなみさんの人柄で、お店は自然に生まれたサロンの場になっています。

町の内外から、様々な人がお店を訪れるので、お店で初めて会ったお客さん同士が仲良くなるということも度々あるそうです。



11 住み続けられるまちづくりを

SDGs 目標 11

いなみさんは、隣町の農家から嫁いできました。人と接する仕事は初めてでしたが、すんなり馴染めたそうです。「お酒の配達で地域のことを覚えました。お店のエプロンをして配達してたので、地域の人にもすぐ覚えてもらいましたよ」と懐かしそうに語ります。その頃からお店はサロンのようになっており、いなみさんも地域に馴染んでいきました。

↓通り沿いにある加藤酒店。



お店での話題は年を経るにつれて変わってきました。子どもが小さかった頃は学校の話、子どもが大きくなると結婚の話、子どもが手を離れると、自分たちの年金や薬の話、最近では、介護施設やお墓のことも話題になるそうです。

常連さんには、高齢の父母がいる人も多く、介護の話題が中心になることが多くなってきたそうです。

コロナ禍でも介護は続く 最後は笑って帰ってほしい

いなみさんは、その人柄から、「介護者家族の会」(※1)の会長も務めています。「介護はやっばり大変で、どうしても気持ちが塞いでしまいますから、会の集まりやお店に来る人には、家族以外の人に会って、たまっていることを吐き出してもらって、少しでも楽になってほしいです」。

コロナ禍になり、会の行事が中止になることが多くなりました。それでも、飲食を伴わない行事は、工夫して感染対策をしながら行いました。「コロナ禍でも、介護は休むことはできません。会う



←コロナ対策をしながら、ポッチャで交流。

機会は減ってしまいましたが、少しでも話を聞いてあげたいですし、最後には大笑いして帰ってほしいです」。介護の先輩でもあるいなみさんに話を聞いてもらうと皆さん心強いし、すっきりしてお帰りになります。加藤酒店は、地域の皆さんにとって、心の拠りどころとなっています。



コロナ前は交流会も定期的に行っていました。

3 すべての人に健康と福祉を



SDGs 目標 3

介護者家族の会でアームカバー作りを開催しました。

色麻のコミュニティ紹介

色麻町ジュニア・リーダー『さらっこ花』



色麻町ジュニア・リーダー『さらっこ花』は、子ども会等のお手伝いをする中高校生のボランティアです。8月2日には、小学生を対象に工作教室を開催。子供たちからは『実験みたいで楽しい』と大好評でした。ジュニア・リーダーは、挑戦と経験を繰り返して、誰かのために何か出来る喜びを知ることが出来ます。現在、ジュニア・リーダーはメンバーを募集中です！お気軽にお問合せ下さい。

問合せは色麻町公民館（65-13110）まで。

介護者家族の会 ※1



介護者家族の会は、寝たきり等の家族を介護する方々の交流を図ることにより、介護に必要な情報交換・技術習得に取組みながら、よりよい介護の実践、介護家族の負担の軽減、要介護者とともに安心して生活できる地域社会を築くことを目的として結成された会です。

会では、新規会員を募集しています。関心のある方は、色麻社協（65-12260）までお問い合わせください。

しかま支え合い掲示板

名店の味が一堂に！ 「かつぱ市」開催！

地域の飲食店のメニューが1ヶ所で買えるということで、昨年大好評だった「かつぱ夕市」が、内容をリニューアルし、名称も「かつぱ市」と改め、今年も開催されることになりました。

新型コロナウイルス感染症の影響は依然として衰えず、飲食関連事業者の皆様は苦しい状況にあり、地域の方々も外食自粛でお店の味を楽しめる機会が減ってしまっているのではないのでしょうか。

「かつぱ市」では、地域の名店のメニューをテイクアウト方式でご堪能いただけます。前回お仕事等で来場できなかった皆様のために、今回は土曜日の日中の開催！出来たて獲れたての商品を提供する野外出店コーナーも設置されます。この機会に是非ご来場ください。



名店の味が勢ぞろい！！

開催日時・場所は、下記の通りになります！

【日時】①令和3年10月23日(土) 14:00~16:00

②令和3年11月6日(土) 14:00~16:00

(屋外出店は13:00から順次開店します。)

【場所】かつぱ笑会(色麻町役場前)

【主催】やってみよう！まちづくりの会

【協力】加美商工会、色麻町、加美地区飲食店組合、色麻町仕出し組合

【お問い合わせ】加美商工会色麻支部(65-4384)

地域の活動情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！
皆さんの地区で域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がありましたら、下記の連絡先までご連絡ください。
生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合



色麻町社会福祉協議会
色麻町生活支援コーディネーター
すが わら かず すぎ
菅 原 一 杉

情報誌にてご紹介させていただきます。
皆さんの地区の活動が、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

EYE'S



●ふれあいは一と訪問お弁当配達日● 今月は21日(木) 22日(金)です!!

町内の七十五才以上の一人暮らしの方のお宅に、協力員さんが訪問する「ふれあいは一と訪問」。十月はお弁当配達の日になっています。
配達日は二十一日の木曜日と、翌二十二日の金曜日になっています。いずれもお昼時にお伺いします。
ご注文された方のお宅にお持ちしますので、お楽しみに！



このマークが目印です。

しかま支え合い情報誌 vol.3

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。